

2022年度(令和4年度)学校評価自己評価表

福山市立中央中学校区	校番49	福山市立桜丘小学校
最終更新日		2022年(令和4年)4月1日

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中、各学校感染拡大防止策を考え工夫されて学習、行事に取り組まれている。子どもたちが、学校が楽しいと感じられるように校区の学校が取り組んでほしい。 評価項目の8項目において、十分満足、概ね満足できると肯定的評価をいただいております。引き続き努力してほしい。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども主体の学びづくりの中で、主体性が育ちつつある。 小中で授業研究をすすめ、自分の考えを表現する力をつけてきている。 ●不登校傾向にある児童生徒数の割合が中学校で高い。 ●家庭での学習習慣をより主体的に進めていく必要がある。 	<p>育成する力 21世紀型“スキル&倫理観”</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>【学びに向かう力】</p> <p>【課題発見・解決力】</p> <p>【自己肯定感】</p>
		<p>ふるさとを愛し、地域の中で、伸びやかにたくましく成長している</p>	
		<p>1 校区合同で実施する授業研究</p> <p>2 生徒会、児童会による「いじめSTOP集会」や「あいさつ運動」の実施</p> <p>3 校区校長会・校区教頭会・校区各主任会等を通しての連携</p>	

III 自校

<p>ミッション</p> <p>自ら未来を切り拓き、たくましく生きる力をもった児童の育成</p>	<p>育成する力 21世紀型“スキル&倫理観”</p> <p>低</p> <p>めざす子ども像</p> <p>中</p> <p>高</p>	<p>スキル・・・A【知識・技能】</p> <p>倫理観・・・C【協調性】</p> <p>B【思考力・判断力・表現力】</p> <p>D【思いやり】</p> <p>A 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる</p> <p>B お互いの考えを聞き合い、思いを伝え合うことができる</p> <p>D 相手の立場に立って、友だちの気持ちを考えることができる</p> <p>A 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、既習の知識と比較することができる。</p> <p>B 他者の考えを聞き、さまざまな気づきを持ち、自分の考えと比べながら表現できる</p> <p>D 友だちの気持ちや周囲の思いを考えた言動ができる</p> <p>A 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、関連付けて考えることができる。</p> <p>B 他者の考えの意図を感じながら聞き、自分の考えを深め、その変化を表現することができる</p> <p>D 相手や場に応じて適切な言動ができると同時に、今、なにをすべきかを周囲に提案できる</p>
<p>学校教育目標</p> <p>やさしく・たくましく・やりぬく</p>	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>内容等</p>	<p>互いのよさを認め合い、楽しく表現する児童の育成 ～「主体的・対話的で深い学び」の姿を引き出す授業づくりを通して～</p> <p>「見る→考える→話す→聴く」のプロセスを活用し、主体的な学びをつなぐ</p>
<p>現状</p> <p><児童生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習規律・家庭学習習慣や基礎学力は概ね定着してきている。 ●反面、学習をやり切ることができない児童もあり、平均点が全国を下回る学年もある。 ●与えられた課題に取り組むことができるが、自分から課題を見つけ解決策を工夫して取り組むには至っていない。 ●自分の考えや思いを相手に伝えるように表現しにくい。 ●自己肯定感や自己有用感が低い傾向にある。 <p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な問題解決型の授業は定着している。 ○授業展開に「みる→考える→話す→聴く→」の過程を位置付け、「LT」と名付けて定着を図り、対話的な学びに取り組んでいる。 ●授業は教師主導の傾向があり、児童自ら課題発見し、協働の学びによって改善する必要がある。 	<p>めざす授業の姿</p> <p>あげもら・LTを中心に、題材・教材や自己とじっくり向き合い、他者と交流する「主体的・対話的な学び」を充実させることで、想像力を高め楽しく表現することができる授業</p>	

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 桜丘小 学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	70% 達成 評価	70% 達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	70% 達成 評価	70% 達成 評価	総合 評価
2	児童の「21世紀型“スキル&倫理観”」を育成し、主体的な学びの実現を図る。	★	継続	自分の考えをもち、かかわりの中で考えを深める児童を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 「LT」を授業の中で合言葉として使用し、対話的で深い学びにつなげていく。 児童の主体的な学びの姿について交流する時間をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で自分の考えが深まった児童を3%以上増やす。 授業で児童の考えを深めたと実感する指導者を70%以上にする。 								
1	互いの良さから学び合い、自己の成長につなげる児童を育成する。		新規	見通しをもって、隅々まで掃除ができる児童を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 掃除の反省カードを活用し、掃除の仕方を振り返ることで隅々まで掃除ができるようにする。 掃除時間の終わり5分間に音楽を流し、時間を意識できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除担当の評価がAの児童を65%以上にする。 見通しをもって掃除ができる児童を75%以上にする。 								
1	健康で体力が身についた児童を育成する。		新規	自己の体力課題が分かり、積極的に体力づくりを行う児童を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 体力改善シートを活用して、体育の授業を工夫したり、外遊びの奨励・家庭での体力づくりを行ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動することを楽しむ児童を75%以上にする。 								

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。